

# 千瓢

The Senpyo

発行日 . 2025年(令和7年)6月1日  
発行 . 富山県立大学同窓会 会長 野開勝政  
編集 . 「千瓢」編集部 編集長 池上 勁, 編集員 炭谷 優子  
住所 . 〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内  
電話 . 0766-56-7500 (代表)  
メール . senpyokai@pu-toyama.ac.jp  
URL . https://tpu-dosokai.jp

## 富山県立大学同窓会は

# 20周年を迎えました



### — 2005年の合併から現在まで —

富山県立大学同窓会が発足して今年で20年になる。20年前には千瓢会(富山県立大谷技術短期大学・富山県立技術短期大学・富山県立大学短期大学部同窓会)と富山県立大学工学部同窓会の2つの同窓会が並立していた。工学部同窓会は活動を支えていた人が転勤で富山を離れる等の問題が起き、じっくりと同窓会活動に取り組めない状態が続き、千瓢会に合併の申し入れがあった。千瓢会にも短大部の卒業生の減少と活動資金の減少の問題を抱えており合併にこぎつけた。

千瓢会の荒木甫会長と工学部同窓会の高田満会長は何度も話し合いを経て、2005年(平成17年)11月13日(日)ホテルアクア黒部(黒部市天神新)で千瓢会と富山県立大学工学部同窓会の総会が開かれ、両同窓会で合併が承認され富山県立大学同窓会が誕生した。会長に千瓢会会長の荒木甫氏、副会長に工学部同窓会会長の高田満氏が選ばれた。千瓢会機関誌『千瓢会だより』(最終号14号)と工学部同窓会機関誌『飛翔』(最終号12号・創刊号は『TPUだより』2号から改題)は統合して富山県立大学同窓会機関誌『千瓢』が発行された。

初めは会計の一本化や行事の調整などの問題があったが、話し合いでスムーズに移行できた。2014年(平成26年)8月に20年間同窓会の舵取りを担ってきた荒木甫氏から野開勝政氏(富山県立技術短短期大学農林土木科第6回卒業)に会長がバトンタッチされ現在に至る。

同窓会の活動としては大学祭の協力、海外への研修派遣事業に対する補助、学内食堂に対する援助や講演会、そして機関誌の発行など多岐に渡っている。

20周年を記念して、10年ぶりの同窓会名簿の発行と工学者の武田邦彦氏の記念講演を予定している。



2005.11.13  
新しい同窓会で挨拶する  
高田満氏  
<千瓢 創刊号より>



2015.4.22  
荒木甫氏と野開勝政氏の対談  
<千瓢 第10号より>

## 目

- 1 巻頭 同窓会 2005年の合併から現在まで
- 2 同窓会設立20周年記念 定期総会・記念講演会・懇親会
- 3 令和6年度 総会・新校舎見学会・懇親会 ダイジェスト
- 4 これまでの10年を振り返って 野開 勝政 同窓会会長
- 5 茶道部創立60周年記念茶会
- 6 技には厳しく 心は寛やかに 今井 秀昭
- 8 インタビュー「氷見の魚を全国に」 江幡 勉
- 9 研究室の近況案内 工学部 機械システム工学科/電気電子工学科  
/環境・社会基盤工学科/生物工学科/医薬品工学科
- 10 この数字をご存じですか?
- 12 集まってます デバイス工学研究室大同窓会
- 14 研究室の近況案内 情報工学部 データサイエンス学科  
/情報システム工学科/知能ロボット工学科

## 次

- 14 集まってます 生物反応科学研究室同窓会
- 16 県大発 社会人向けセミナー 2025 地域連携センター
- 17 DX 教育研究センターの近況案内
- 18 退職にあたり 川上 智規 教授(環境・社会基盤工学科)
- 18 3冊の本 竹澤 みどり/江添 良作
- 19 広告掲載企業一覧
- 20 私の好きなもの 石見 嘉治
- 20 はてなクイズ
- 21 大学ニュース/プレゼント
- 22 エトワール会に参加して感じたこと 奥原 正樹
- 23 ポートランド州立大学語学研修/富山・バーゼル交流促進事業
- 23 寄付金報告
- 24 2025年度同窓会総会のお知らせ/声/編集後記

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の1期生です。

富山県立大学同窓会設立 20 周年記念

## 定期総会・記念講演会・懇親会

2025 年 8 月 9 日 (土)

### 2025 年度定期総会

- ◆ 日時 8 月 9 日 (土) 13:00 ~
- ◆ 会場 富山県立大学 中央棟 2 階 N-211
- ◆ 受付 12:30 より中央棟 1 階にて

### 2025 年度懇親会

- ◆ 日時  
8 月 9 日 (土) 18:00 ~ 20:40 (受付開始 : 17:20)
- ◆ 会場  
呉羽ハイツ (富山県富山市吉作 4103-1)
- ◆ 会費  
3,000 円
- ◆ 申込締切  
2025 年 7 月 10 日 (木) ※厳守
- ◆ 宿泊について  
ご希望の方は呉羽ハイツに宿泊可能です (相部屋)。  
宿泊費 : 5,000 円  
※事前に同窓会事務局までお申し込みください。
- ◆ 申込方法  
・ QR コードから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力のうえ送信してください。  
・ 会報誌千瓢に同封の返信ハガキ、ホームページからもお申し込みいただけます。

※会費・宿泊費ともに、同窓会による支援により、ご負担の少ない金額に設定しております。  
旧交を温め、新たなつながりを広げる機会として、またクラス会の場としてもご利用いただいております。  
たくさんのご参加をお待ちしております。

#### 【今年の幹事学年】

- ・富山県立大学 3 期生 (大学 : 1996 年卒、短大 : 1994 年卒)
- ・富山県立技術短期大学 (1986 年卒)

#### 実行委員のみなさん

実行委員長 丹羽 (黒崎) 美和子 (大 3 電子)

副委員長 片境 清久 (技 22 衛工)

#### 委員

〈技 23 農機〉川尻 香代子

〈技 27 農機〉高野 秀一

〈大 3 機械〉青野 賢司・酒井 秀仁・野口 雄次・中島 晴記・  
宮窪 (吉田) 孝富・岡鼻 英二

〈大 6 機械〉Tocharoen Tatcha

〈院前生物〉磯部 貴弘

〈大 4 電子〉金崎 拓馬

実行委員の皆さまのご協力により、今年も充実した懇親会を企画しております。

▶ 詳しくはホームページでご確認ください。  
変更があった場合はホームページにてお知らせいたします。

### 20 周年記念講演会



講師 武田 邦彦 氏 (工学者)

#### 【プロフィール】

1943 年 6 月 3 日、東京都生まれ。1966 年東京大学教養学部基礎科学科卒業。旭化成工業などを経て、これまで東京大学、京都大学、東北大学、横浜国立大学、早稲田大学、立教大学、愛知大学などの非常勤講師、中部大学にて教授を務める。文部科学省中央教育審議会専門委員、工学アカデミー理事、芝浦工業大学評議員、NEDO 技術委員、日本工学教育協会常任理事などを歴任。物理化学的手法を用いた原子力、材料、環境などの研究や倫理の研究も行っている。最近では、「ホンマでっか!? TV」(フジテレビ)をはじめ、テレビ番組にも出演。これまでの「環境問題の常識」に警鐘を鳴らす。

### 演題 「日本文化とものづくり」

世界に誇る「日本のものづくり」。  
その背景には、日本独自の文化や精神性が息づいています。  
環境・科学・教育と多分野にわたり活躍する武田邦彦氏が、今改めて“日本らしさ”とは何かを語ります。  
日常の見方が変わる講演です。

- ◆ 日時 8 月 9 日 (土) 14:30 ~ 16:00
- ◆ 会場 富山県立大学 大講義室 (中央棟)
- ◆ 受付 13:30 より富山県立大学中央棟 1 階にて

参加無料 / 事前申込制

申込締切 : 7 月 31 日 (木)

※定員に達し次第締切となる場合がございます。

#### ◆ 申込方法

- ・ QR コードから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力のうえ送信してください。

お申し込みは  
WEB から!



スマートフォン等で左記を読み取って申し込みフォームにアクセスできます。

※会報誌千瓢に同封の返信ハガキ、ホームページからもお申し込みいただけますが、重複にご注意ください。  
いずれか一つの方法でお申し込みください。

令和6年度  
 総会・新校舎見学会・懇親会  
 ダイジェスト  
 つながる想い、広がる絆

馬場（旧姓 南部）恭子さん（工学部 機械システム工学科 2 期）を実行委員長に、技短 1985 年卒と県大 2 期生の皆さまが中心となって企画・運営にご協力いただきました。

3名の先生方による講演会と新校舎の見学会は、多くの参加者に喜ばれ、ともに大変好評を博しました。

パレブラン高志会館で行われた懇親会では、幹事学年を中心に多数の同窓生が集い、世代を超えた交流の輪が広がる貴重なひとときとなりました。なかでも、実行委員のアイデアによる「野球のドラフト形式」を取り入れたプレゼント抽選会は大きな盛り上がりを見せ、司会を務めた石見さんと馬場さんの絶妙な掛け合いにより、会場は終始笑顔に包まれていました。

昨年の同窓会を終えて  
 馬場恭子実行委員長のコメント

同窓会のあと、参加できなかった仲間も含めて再び集まる機会があり、卒業後の経過や近況を語り合いながら、まるで学生時代に戻ったような懐かしく楽しい時間を過ごしました。

また、当時の仲間の中には、それぞれ別の会社で部長職に就いている者もあり、同窓会での再会をきっかけに、部下同士を交えた技術交流会へとつながった例もありました。

仕事上で技術的な課題に直面した際には、同窓会で再会した同級生に相談し、スムーズに解決できたという出来事もありました。

あらためて、同窓会を通じて生まれた人脈のネットワークの大切さを実感しています。



総会

講演会



校舎見学会



見学会参加者の  
 コメント



講演で富山県立大学の過去（歴史）、未来ビジョン、そしてその先端のDXについて理解でき、ますます発展する大学にワクワクした。そして自分もその一員として頑張ろうと思いました。本日はありがとうございました。

特別会議室からの眺めはすごく良かった。

DX 教育研究センターの最新設備がすごかったです。ここで学べるって楽しそうだなと思いました。壁の一部がホワイトボードになっていて、アイデアをすぐ書けるのが良いと思いました。これから先、県立大学がどのように進化していくのか楽しみです。

短大卒の人間には、別世界のような状況でした。



懇親会



会



## これまでの10年を振り返って

富山県立大学同窓会会長 野開 勝政



同窓会のお世話をさせて頂き早10年目を迎えました。10年前、当時の同窓会長荒木甫さんと道順副会長が勤務先の市役所に来られ同窓会長を引き受けて欲しいと頼みに来られ、断ることも出来ず引き受けることにしました。ある役員からは「あなた大変な要職よう受けたねえ」とビックリされました。

いきなりの会長職で何も分からない状態でしたが、当時の同窓会事務局長の荒木 薫さんらに助言を頂き何とかやり切ってきました。今でも炭谷現事務局長や執行部役員には大変お世話を頂いております。当時の同窓会事務局は短大部の校舎内にありましたが、旧校舎の取り壊しに伴い、東側道路を挟んだ現在の場所に移転しました。

また、この10年の間に大学は公立大学法人化され理事長と学長の二人体制となりました。私は初代理事長の寺井さんや前学長の下山さん、草刈り十字軍の提唱者の足立原さんとも対談させて頂きました。お三方とも大変優しく気さくな方で対談もスムーズに進めることが出来ました。

令和に入り新型コロナが大流行し3年間に渡り、同窓会総会等の行事も開催出来ませんでした。この失われた3年間は公私ともに大きな損失であったと思います。

令和6年元日の午後4時過ぎに発生した能登半島地震は、富山県内でも震度5強を観測し、私がこれまで経験したことのない大きな揺れでした。能登地方を中心に大変な被害が発生しました。一日も早い復興そして平穏な日常生活に戻られることをお祈り申し上げます。

昨年8月10日には同窓会総会・懇親会を過去最大となる多くの同窓生参加のもと盛大に開催することができました。懇親会を企画して頂いた実行委員並びに執行部役員の皆様には敬意を表します。

毎年、秋頃に首都圏で活動されている主に短大時代の同窓生の集い「エトワール会」に何度か参加させて頂きました。近況報告、学生時代の懐かしい思い出話、健康に関する



2016.11.7 足立原貴(元富山県立大学短期大学部長)氏との対談風景 <千瓢 第12号より>

の話などで盛り上がり、エトワール会の皆さんと楽しい時間を共有できました。何十年経っても母校や故郷富山を愛してやまない皆さんの思いが十分伝わってきました。これからも引き続き交流を深めるとともにエトワール会のさらなる発展をお祈りします。

現在、大学では情報工学部棟が建築中です。社会のニーズに応じた知の拠点としてまた、地域に誇りと愛着を持ち社会の発展に貢献できる人材を輩出する大学づくりが着々と進められています。

我々同窓会といたしましても、学生や大学当局から期待され、愛される同窓会活動にしていきたいと考えていますので、本年も会員皆様のさらなるご理解とご支援よろしくお願い致します。

本年8月9日には合併20周年記念の講演会並びに定期総会・懇親会を開催する予定です。多くの同窓生の参加をお待ちしております。



2019.3.29 下山勲前学長との対談 <千瓢 第14号より>

### ■追伸

年齢を重ねるとともに、地元のいくつもの世話係を要請されます。社会貢献の一環そして地域への恩返しの意味で引き受けていますが、出来て当たり前、出来なければ陰口が叩かれます。いかに謙虚な姿勢で協力をお願いし団結していくかが肝要です。

何より人間関係がうまい人は「さりげなく配慮をして無駄に敵を作らない人」と言われています。その為には年齢や肩書にとらわれず誰にでも謙虚にそして礼儀正しくふるまうことを心掛けねばなりません。

聞かれてもいない自慢話をしたり、相手の話を遮って自分のことばかり話したり、勝手にアドバイスをしたがるものです。私自身も一言多かったり、相手を傷つけるようなことを言って後悔することがよくあります。特に妻には何気ない一言で傷つけてしまい険悪な空気になることは数知れず、そのたびに子供や孫までにも心配をかけています。

責任感やプレッシャーそしてストレスに押しつぶされそうになりますが、私の解消法は温泉巡りとサウナでとこのことです。3年前位から空前のサウナブームとなっておりますが、私のサウナ歴は長く40年以上になります。特にここ10年位は週に2回は主に県内の日帰り温泉を巡って発散しています。熱いサウナと冷たい水風呂そして温泉たまりません。ささやかな自分へのご褒美です。

皆さんも自分に適した好きなことに夢中になるストレス解消法を見つけこころ豊かな人生を歩んで下さい。

本年をもって大きな役目を終えることが出来ます。ありがとうございました。

茶道部創立 60 周年記念茶会

令和 6 年 10 月 5 日開催

平素より富山県立大学茶道部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2024 年 60 周年記念茶会開催にご尽力いただきました方々へこの場をお借りし御礼申し上げます。ご来賓の方々と並んでの挨拶は非常に身が締まる思いでしたが、記念茶会、レセプション、写真撮影といずれも和やかで暖かい場にしていただき誠に有難い事でした。今回は初めて QR コードや LINE・Zoom にて皆様方と繋がり準備し開催しました。今後も ICT を活用し茶道部 OB 会活動を行う所存です。また現役世代県立大学茶道部の活動におかれましても、今まで以上にご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

茶道部 OB 会「千瓢の会」会長 47 期 石母田 剛



富山県立大学茶道部創立 60 周年を祝し令和 6 年 10 月 5 日記念茶会レセプションを開催しました。一昨年前程から準備を進め OB による濃茶席・現部員による薄茶席を設けお茶会終了後はレセプションにて OB の旧知を懐かしみ大変和やかな雰囲気の下盛会のうちに終えることができました。お茶会には富山県内の高校・大学の茶道部の先生・学生さんをお招きし佐藤美術記念館学芸員中川靖子さんや新聞の取材もお受けしました。レセプションでは裏千家淡交会富山支部長・富山県知事 新田八朗様、富山県立大学副学長・茶道部顧問 中島範行様、同窓会会長 野開勝政様、茶道部歴代の先生方の御参列・御祝辞を頂戴し大変感謝申し上げます。令和 6 年元旦の能登半島地震で茶亭「千瓢」は、大きく被災し大学内の施設をお借りしての開催となりました。茶道部 60 年の歴史と茶亭「千瓢」の被災状況を掲示させていただき皆様に茶亭の修復実現を訴えさせていただきました。次回 65 周年記念茶会には是非とも茶亭「千瓢」でと祈念し締めくくりました。

21 期 松本義孝

大学・茶道部の歩み

- 1962 3.31 佐藤助庵氏より茶亭「千瓢」を寄贈される (12 代目佐藤助九郎、1896-1979)
1962 4.1 富山県立大谷技術短期大学 開学
1963 9 月 茶華道部創部 赤間先生とお弟子さんを迎えての初稽古
1969 10.11 洗心庵茶会
1972 4.1 富山県立技術短期大学に名称変更
1972 5 月 富山県立技術短期大学茶道部創立 10 周年記念茶会
1977 10.9 富山県立技術短期大学茶道部創立 15 周年記念茶会
1983 3.6 富山県立技術短期大学茶道部創立 20 周年記念茶会
1990 4.1 富山県立大学 開学
1991 11.3 赤間宗民先生退任謝恩記念
1998 3 月 富山県立大学茶道部創立 35 周年茶道部 OB 会「千瓢の会」創立 35 周年茶会・朝山宗美先生謝恩記念、金川宗豊先生就任記念
2003 6.8 茶道部創立 40 周年記念茶会
2012 6.17 茶道部創立 50 周年記念茶会 (2 日間)
2017 1.1 赤間宗民先生ご逝去
2019 10 月 金川宗豊先生退任、青山宗律先生就任
2024 1.1 能登半島地震で「千瓢」被災 立ち入り禁止
2024 10.5 茶道部創立 60 周年記念茶会・金川宗豊先生謝恩記念

OB による濃茶席：学生会館



茶道部員による薄茶席：9 階中央棟



レセプション：厚生棟食堂



## ～ 記念茶会を終えて～ OB たちの思い



学生さんの頑張りに感謝!! 茶室を早く修復して、佐藤助庵さんの御心と裏千家茶道の楽しさを多くの人に伝えたい。

2期 今井 秀昭 (茶名・宗秀)

### ■佐藤助庵

(1896・明治 29 年～ 1979・昭和 54 年) 83 歳没

土木・建設業を営む佐藤家 12 代目助九郎、東砺波郡柳瀬村(現・砺波市)に生を享け、貴族院議員など政財界の重鎮として尊敬を集めた。幼い頃から邸内にいくつもあった茶室で茶の湯に親しみ、1953(昭和 28)年裏千家 14 代淡々斎家元から老分に推挙されて、茶名・宗越を賜る。戦前から茶の湯の大御所で電力王の異名を持つ、松永耳庵(松永安左エ門)1875・明治 8 年～1971・昭和 46 年)に私淑し、富山空襲の折に子供を抱えて神通川河中へ避難し、一命を取りとめたとして「助庵」の号を拝した。晩年は、呉羽山山麓に呉山窯を築き、粘土をこね、野花を愛し、茶杓を削り、懐石料理を工夫し、茶の湯を楽しみ、若い世代に茶道文化を学んでほしいと、県立大学(千瓢)や砺波高校(龍心庵)に茶室・茶道具を寄贈した。漢詩、俳句、書画も良くし、柳亭の号を使用、1961(昭和 36)年に富山城址公園内に現・佐藤記念美術館を開設し、蒐集品や茶室「柳汀庵」「助庵」、総檜作り書院を公開した。

### ■現在

現在、茶室へは立ち入りできません。能登半島地震の影響で茶道口の右側(右写真中央)壁の下地板が剥き出しになり畳の上に土壁が無残に落ち、壁の下地板と柱の間に隙間が空いた状態です。昭和 37 年に佐藤助庵様が自身の茶亭を移築され、現在に至っています。平成 14 年 10 月には大規模改修実施、屋根の部分修繕などありますが、改めて細部を見ると土台や根太が部分的に損傷しています。灯籠は 2 基とも倒壊し庭に横たわっていました。しかし、扁額はしっかりと残っており悲惨な現状でも少し懐かしく感じられました。千瓢庵の修繕は今やらねば全てが崩れる寸前です。今まで何もしてこなかった自分を反省しつつ、今やらねば全てを失うとの思いです。



11 期 関口 齋

### 60 周年記念茶会参加人数

OB: 51 名 現役部員数: 25 名

【R7/3 現在: 茶道部 OB 363 名、物故者 23 名】

## 技には厳しく 心は寛やかに

～谷安正学長の言葉を伝えたい～



今井 秀昭

(草農業科 1 期 1965・昭和 40 年卒)

初代学長 谷安正 先生  
(1898-1975)

卒業から 60 年の春、大学関係者のご理解を賜り、富山県立大谷技術短期大学初代学長・谷安正先生から頂いた御染筆「技には厳しく 心は寛やかに」の言葉を、富山県地図に模ったインド産黒御影石(80cm×70cm×厚さ 15cm)に刻み、大谷講堂入口近くに建立させて頂くことが出来ました。

この芝庭には、富山県立技術短期大学記念之碑(1991・平成 3 年)と谷良子様(谷学長夫人)が寄贈(1975・昭和 50 年)なされた庭石が有り、深いご緑の良き場所に建立できたことに、嬉しさが倍増しています。

谷学長(1898・明治 31 年～1975・昭和 50 年)は、現滑川市大崎野出身、電子顕微鏡開発の草分けとして知られる世界的な応用物理学者、大学へは月に数日東京からお越しになり、その折には学生と学長室や、中庭芝生で車座になり、お話しをお聞きしたこと、茶室「千瓢」

にて東大・茅誠司総長(物理学者 1898・明治 31 年～1988・昭和 63 年、小さな親切運動提唱者)と共にお話を賜ったこと等が思い出されます。

同窓生の皆さんも谷学長との多くの思い出が有るでしょう、貧しい時代に吉田實県知事や大谷米太郎翁の深い思いの詰まった技術大学創設で、私たちは学ぶ機会が与えられ、谷学長や恩師、多くの学友に出会い、この言葉を頂き、終生心の支えとして励み、80 歳になった今もこうして豊かな人生を送れていることに感謝しています。

この言葉が将来にわたり、若き学び人の心に刻まれ、世のために活躍される人材輩出につながることを願っています。



## ■茶道部 OB 方々のメッセージ

茶室は残念な状態でしたが、先輩や後輩の方々のあたたかいおもてなしに部の継続は嬉しく頼もしく感じられました。

(8期 数井)

構内の隅にある寂しげな茶室の前で真夏の座禅修行、昼のから拭き等とともに赤間先生の厳しいご指導、楽しかった部活動が蘇ってきました。先輩始め後輩の心からのおもてなしに感謝いたしました。

(8期 米沢)

お会いしたこともない後輩の方々と濃茶席の水屋を担当し、なぜか学生時代に返ったような楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。

(11期 康子)

事務方の準備色々大変でしたが濃茶 飲んだ時は感涙！今回は若い世代の参加を切望します。

(17期 金岡京子)

久しぶりに皆様と楽しい時間を過ごすことができました。集合写真や、ラインアルバムが一番の宝物です。次回も元気にお会いできればと思います。素晴らしい茶会を作ってください幹事・現役生の皆さんに心から感謝いたします。

(17期 井上 修)

大先輩から助庵さんの話を伺い、貴重な体験でした。

(18期 さちこ)

皆様方の御助力を持ちまして、会が盛り上がり、無事終了した事に、謝意と御礼を申し上げます。とるに足りない事務方の独りとして、今回の行事に参加させて頂いた事を、大変嬉しく思います。本当に有り難うございました。

(18期 金岡寿也)

先輩、同期、後輩の皆さんと60周年事業に参加し、すごく楽しかったです♪ (うっそ)

(18期 みつこ)

「世界で一つしかない茶室がある大学」での学び・出会いは、今でも続いています。60年余の歴史のある茶道部の引き継ぎの活動と次の記念茶会での再会を願っています。

(19期 一同)

現役時に20周年茶会を経験し40周年、60周年と20年毎に参加させて頂き本当に幸せな1日を過ごさせてくださいました。これを機に同期の絆も深まりLINEおしゃべりを楽しむようになりました。感謝しております。

(20期 あーちゃん)

助庵氏からの茶室寄贈にて現在まで60数年続いています。おもてなし、思いやりの心を学びました。準備は大変でしたが朝山先生や皆様方にお会いでき大変うれしく卒業後40年以上経ちまた交流が活発になりました。(\*^。^\*)

(20期 てる)

夢の様な1日でした。卒業以来一度も参加出来ず、今回絶対参加したいと思い家族に無理を言って連れて来て貰いました。最初で最後の家族での長旅が無事に終わり感謝感謝です。ありがとうございました。

(20期 淳子)

懐かしい方々とお会いできて幸せな一時でした。先輩方から第二の人生の向き合い方も学ばせて頂きました。半年以上前から準備に携わってこられた事務局の皆様、このような機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

(20期 由美子)

懐かしい先輩、同期、後輩に会え、何より変わらずお元気な朝山先生にお会いできてとても良かったです。次回お茶室が復元されお茶会が開催される事を熱望しています。

(21期 きよ)

40年ぶりのお茶会、みなさんのおかげで、「一期一会」と、過去・現在・未来をつなぎ、紡ぐ、素晴らしいひと時でした。

(22期 高橋 渡)

60周年記念茶会は、十数年ぶりに先生や先輩方にお会いできた嬉しい機会となりました。お茶室が早く修復されますようお願いしています。

(28期 堀田)



Life with Green Technology

環境技術でひらく、豊かな暮らし

# 三協アルミ

北信越支店 富山ビル建材部

〒930-0982 富山市荒川3-2-6 TEL(076)492-0083

理化学器機・産業器機 計測・試験機器

## 山本理化

山本文雄

〒939-8046 富山市本郷新 63-5

TEL : (076)461-4773 FAX : (076)461-6957

E-mail : yamamoto-rk@fancy.ocn.ne.jp

地域の未来をつむいでいきます

測量/設計/補償/地籍調査/3Dレーザー計測/システム開発



株式会社 上智

本社 〒939-1351 富山県砺波市千代176番地の1

TEL 0763-33-2085 HP www.johchi.co.jp

総合建設コンサルタント



信頼のおける技術で社会に貢献する

## 株式会社 建成コンサルタント

代表取締役社長 瀬川 光太郎

本社 〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1

TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697



## 氷見の魚を全国に

## 江幡 勉 (えばた つとむ)

富山県立大学 工学部 機械システム工学科  
2期生 (1995年卒)

氷見で水産物の加工・販売業を営む株式会社江政(エーマサ)商店の代表取締役社長として、氷見の魅力と海の幸を県内外に発信し続けている江幡勉さん。

今回は、江幡さんに  
「地元氷見に根ざしたものづくりと挑戦」  
についてお話を伺いました。

インタビュー



大学時代を振り返ると、バレーボール部に所属していた江幡さん。当時は大学創立まもない2期生だったこともあり、北信越のリーグに加盟しておらず、自分たちで手続きを行い、リーグ戦への参加を実現させたそうです。その時の顧問は川端繁樹先生で、現在は娘さんが看護学科の学生として学んでおり、1年次には川端先生から化学の授業を受けていたとのこと。親子二代にわたって県立大学にご縁があるのは感慨深いエピソードです。

そのほかにもスキー部や自動車部に所属。また劇団に属していた友達が居て、一緒に大学祭で演劇を公演したのは楽しい思い出のひとつです。大学近くの某アパートは学生のたまり場となっており、仲間とともに学生生活を満喫したといいます。現在でもその時の仲間とは連絡を取り合い、定期的に集まっているとのこと。

卒業後は、教授の推薦で日立ビルシステムに就職し、ビル管理システムの構築に従事。5年後、氷見に「道の駅」が誕生し、家業の江政商店が新店舗をきっかけに、地元・氷見に戻ることを決意しました。

江政商店の特徴は、製造・卸に加え、直営の小売店舗を地元氷見と東京に展開している点です。地元では「ひみ番屋街」に出店し、東京では玉川高島屋にテナントを構えて、その他、全国各地の催事にも出店。製造過程でどうしても出てしまう規格外の商品をお買い得品として販売し、漁獲物の有効活用にも取り組んでいます。

ネットショッピングも、工学系の知識を活かし早期に導入したものの、当初は今ほど扱いやすくなく、手間がかかる割に売上が伸びなかったため、一時休止していましたが、

店舗や催事で購入したお客様からリピートの問い合わせが増えたことを受け、現在は再開。重要な販売チャネルとして活用しています。

主力商品の「みりん干し」は本来、焼いて食べるものですが、「焼かずに食べられる商品を」という思いから開発されたのが、そのまま食べられる「焼きちんみ」。数年をかけて技術的課題を乗り越え完成したこの商品は、今では看板商品のひとつとなり、2017年には、全日空のファーストクラスで提供される日本酒のつまみとして選ばれ、当初3か月の予定が、好評により1年間にわたり欧州便で採用されました。

コロナ禍では小売部門が大きな影響を受けたものの、卸部門が支えとなり、バランスを保って乗り切ることができました。また、2024年元旦に発生した能登半島地震では、工場周辺が液状化の影響を受け、少なくない被害がありましたが、色々な方の支えにより早期の普及を果たすことができました。その際、学生時代の仲間からも多くお声がけをいただき、非常に励みになったとのことでした。

「氷見の寒ブリ」を筆頭に、氷見の魚は全国的に知られるブランドに。江幡さんが事業に携わり始めた頃から「氷見の魚」の認知度はありましたが今ほどでなく、ブランドの力が着実に高まっていることを実感していると語ります。

現在の悩みは、物価高騰を価格に転嫁できないこと。特に卸価格への反映は難しく、頭を悩ませる点の一つです。そこで、百貨店向けに高付加価値商品を開発することや、小売部門の売上比率を高めるなど、戦略を進めています。

「これからも氷見の魅力をしっかり伝えながら、氷見の魚のブランド力をさらに高めていきたい」と語る江幡さんの言葉には、地域とともに歩む強い意志が込められていました。

(2024年12月10日取材・文:池上 勁)



道の駅氷見「ひみ番屋街」の直売店「江政商店」

なお、今号のプレゼントは江政商店の海産物セットです。詳しくは21ページをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています！

材料設計加工学講座

伊藤 勉 准教授

私たちの研究室では、軽量・高強度・耐熱性を兼ね備えた金属材料の開発と、それらの製造プロセスの最適化に取り組んでいます。特に、アルミニウム合金・マグネシウム合金・チタン合金を対象に、微細組織の制御を通じて力学特性の向上を目指しています。また、航空・宇宙、自動車、鉄道などの分野への応用を視野に、摩擦攪拌接合 (Friction Stir Welding, FSW, 図1参照) や積層造形 (Additive Manufacturing, AM) などの先端加工技術を活用し、新たな材料設計にも挑戦しています。

1. 耐熱金属材料の開発

航空・宇宙分野や発電設備に求められる耐熱チタン合金のクリープ特性 (図2参照) や変形挙動を研究し、長寿命・高性能な材料設計を行っています。クリープとは、高温下で材料が時間とともにゆっくり変形する現象であり、ジェットエンジン部品やタービンブレードの寿命を決める重要な要素です。

2. 異種材料接合技術の開発 (FSW)

FSW は、摩擦熱で金属を軟化させ、材料を攪拌して接合する技術です。溶融を伴わず、アルミニウム・マグネシウム・銅などの異種金属を高強度で接合できます。本研究室では、FSW の温度管理や組織変化を評価し、次世代の軽量構造材料を開発し、自動車や航空機のさらなる軽量化や燃費向上・CO<sub>2</sub>削減に貢献します。

3. 金属積層造形 (AM) 技術を活用した材料設計

粉末床溶融結合法 (Powder Bed Fusion, PBF) を活用し、チタン合金の積層造形を研究しています。PBF は、レーザーや電子ビームを用いて金属粉末を溶融・凝固させ、複雑形状を造形する技術であり、航空機部品などへの応用を目指します。従来の鋳造・鍛造では難しい軽量・高強度な設計

が可能です。

また、企業との共同研究を積極的に推進し、材料設計・加工技術の社会実装にも力を入れています。未来のものづくりを支える革新的な金属材料開発に興味のある方は、ぜひ私たちの研究室へお越しくください。

末筆ながら、富山県立大学同窓会の皆様には、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

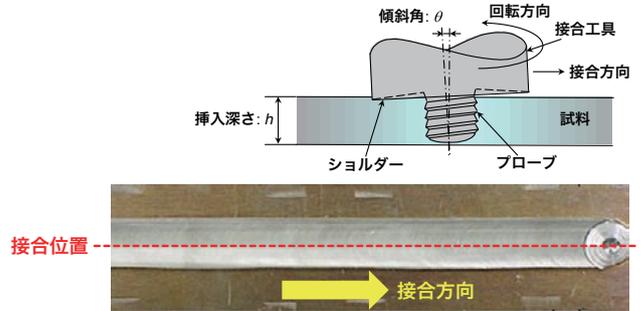


図1 FSW の模式図

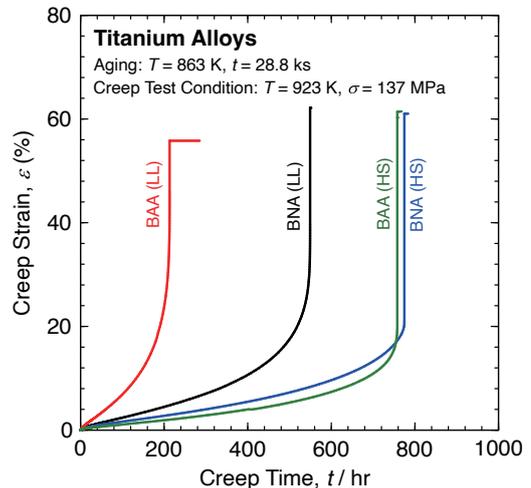


図2 耐熱チタン合金のクリープ曲線 (試験条件: 温度 650°C, 付加応力 137 MPa). 時間とともにひずみ (変形量) が増加する様子が伺える。

<div style="text-align: center;">  <p>総合建設業</p> <p><b>株式会社 婦中興業</b></p> <p>代表取締役社長 竹内 茂</p> <p>〒939-2706 富山県富山市婦中町速星478番地 TEL (076)466-2333(代) FAX (076)465-5392</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>未来の自然を考える</p>  <p><b>株式会社 国土開発センター</b></p> <p>測量・調査・設計・総合コンサルタント</p> <p>取締役富山支店長 村岡 清孝 射水営業所長 野開 勝政</p> <p>富山支店 : 〒939-8213 富山市黒瀬13番地3 TEL(076)420-9800・FAX(076)420-9808 射水営業所 : 〒939-0313 射水市塚越1816番地 TEL(0766)56-8558・FAX(0766)56-8559 http://www.kokudonet.co.jp</p> </div>
<p>あす 未来の環境をクリエイトする</p>  <p><b>株式会社 中部設計</b></p> <p>代表取締役 <b>中瀬 壽</b></p> <p>本社 〒930-0029 富山市本町10番2号 TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704</p>	

## 研究室の近況案内

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

電気電子工学科

## 電子デバイス工学講座

先進電子材料研究室 清水 直 准教授

2023年10月に工学部電気電子工学科に着任しました清水直と申します。着任から約1年半が経過し、富山での生活にも慣れてきました。私の人生で初めての北陸エリアでの生活となりましたが、富山に来る前は、「寒い地域なんだろうな」という、漠然としたイメージを持っていました。しかし、確かに冬は寒いのですが、一方で夏は極めて暑いということがわかり、当初のイメージとのギャップに驚いています。これから少しずつ、そしてより深く、県大と富山を知ってゆきたいと思っています。

当研究室では、「新規電子材料の開発とそのデバイス化」をテーマとした研究を進めています。今後の情報化社会や省エネルギー社会の実現のためには、既存の技術の改良に加え、新たな原理にもとづく新しいデバイスの開発が必要です。そのために、デバイスの素となる様々な電子材料を研究すること、そこからトランジスタをはじめとする電子デバイスの作製に挑戦します。また当研究室では、薄膜を中心とした材料合成、光リソグラフィーを用いたデバイス作製、そして各種計測器を駆使した物理的・化学的特性の評価といった、材料からデバイス評価まで一貫した研究を行います。そのため、学生さんには、基礎研究の重要性が

ら応用に近いところまで、半導体材料研究のさまざまな面に触れることができると思います。その上で、半導体を中心とした電子工学の基礎を習得し、社会に羽ばたいてもらいたいと考えています。

学位取得後からこれまで研究所に勤めてきたため、富山県立大学に着任し初めて学生と向かい合う立場になりました。やはり、研究所での生活とは大きく異なり、わからないことだらけですが、学生とともに新たな研究を始めること、またあらたに研究室の歴史をつくっていくことに、楽しさとやりがいを感じております。このような機会に恵まれたことに幸運を感じるとともに、少しでも大学と地域社会に貢献できるよう精進してまいります。



創立2年目のグループ写真

## 20

この数字を  
存在してますか?

20

千瓢会（富山県立大谷技術短期大学・富山県立技術短期大学・富山県立大学短期大学の同窓会）と、富山県立大学工学部同窓会が合併し、「富山県立大学同窓会」が発足してから、今年で20年を迎えます。

この節目の年を記念して、同窓会では10年ぶりに会員名簿を発行することとなりました。名簿発行にあたり、会員の皆さまには情報のご確認・ご協力をお願いしてまいりました。

合併によって新たな形の同窓会が誕生したのは、2005年（平成17年）11月13日。それから時を経て、2025年でちょうど20年という大きな節目を迎えることとなります。

## 2025年版 会員名簿発行について

名簿発行については慎重なご意見もごございますが、同窓会の活動をより多くの皆さまにお伝えし、今後の発展につなげるためには、定期的な会員情報の整備と名簿の発行は重要な取り組みと考えております。

ご登録内容の正確な管理は、同窓会・母校にとって大切な財産となります。変更等がございましたら、同窓会ホームページより随時ご連絡いただけますと幸いです。

※6月中旬以降にお届けいただいた内容につきましては、名簿への反映が間に合わない場合がございます。あらかじめご了承ください。

なお、個人情報保護法に基づき「安全」「正確」なデータ管理のため、会員名簿の作成では約50年の実績がある（株）サラトに業務を委託しています。



研究室の近況案内

工 学 部

環境・社会基盤工学科

環境工学講座

黒田 啓介 教授

2019年4月着任の黒田啓介です。早くも7年目という時間経過に驚いています。私の研究室は「都市水マネジメント研究室」と名乗っており、河川、湖沼、地下水・湧水、水浴プール、上下水道システムなど、人が水に関わる・触れる場を対象に研究しています（詳しくは研究室HPをご覧ください <https://sites.google.com/view/uwml>）。例えば、医薬品や抗生物質、有機フッ素化合物（PFAS）等の化学物質による汚染の実態を明らかにし、また汚染物質を水中から除去する技術を開発しています。調査は富山県内を中心に、近年は海外にも展開しています。

2023-2024年度は、鹿島学術振興財団の助成を受け、西アフリカのベナンで調査を行いました。本研究は3年前に当国出身の留学生を受け入れたのがきっかけです。その留学生や、環境・社会基盤工学科の端昭彦先生と三小田憲史先生とともに、はるばるベナンまで何度か行ってきました。

富山は水が豊富で、上下水道が整備されているため、水質は概して良好です。一方、ベナンでは下水道が整備されておらず、水環境の汚染は深刻です。特に、雨水を流すための都市排水路がゴミだめのようになっていて、周辺の湖沼を汚染する大きな要因になっていました。これらの水域を対象に、黒田は化学物質、端先生は微生物、三小田先生は有機物やマイクロプラスチック関連の調査を行いました。

私はそれなりに海外調査の経験はありましたが、ベナンでは戸惑うことが多くありました。よく停電したり、ホテルでお湯が出なかったり、共同研究先の大学の車が調査初日に警察に差し押さえられ、結局、帰国するまで車は戻ってこなかったり……。バイクの後ろに乗せてもらって未

舗装のでこぼこ道を走ったときや、マラリア（ベナンの死因1位）を媒介する蚊に何度も刺されたときは、命が軽くなった気がしました。このような経験をするたび、日本は恵まれた国だなとありがたく感じます。

とはいえ、最近では日本でも水道水のPFASや、環境中の抗生物質耐性など、様々な課題が出てきています。我々の研究が少しでも役に立てばと思い、今後も取り組んでまいりますので、皆様にはよろしくお願いいたします。



研究室のOB/OGを加えてBBQ（2025年4月、太閤山ランドにて）



ベナンにて。左から1人目が黒田、2人目が端昭彦先生、右から3人目が三小田憲史先生。

測量・設計・補償・調査・計画・施工管理

おがわ  
株式会社 **雄川コンサルタンツ**

OGAWA 代表取締役 雄川 薫 雅

本社：〒939-1357 富山県砺波市小杉213番地  
TEL：0763-33-5628 FAX：0763-33-2895  
支店：小矢部・入善・南砺・高岡・立山・氷見  
URL：<https://www.1956ogawa.co.jp>

ゆたかな経験 確かな技術

総合建設業  
株式会社 **中越興業** 株式会社

CHUETSU 代表取締役 山下 博

本社 富山県南砺市野口800番地 TEL (0763)62-1221  
FAX (0763)62-1222  
富山支店・岐阜営業所 <http://www.tyuetsu-kogyo.co.jp>

富山県公安委員会指定

富山県  
**第一自動車学校**

〒939-0274  
射水市小島715 TEL0766-52-0722  
<http://www3.canet.jp/users/td1>

緑を育み、未来へつなぐ

株式会社 **サカエグリーン**

取 締 役 山 本 栄

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地  
TEL (076)434-0036  
FAX (076)434-4968  
<https://sakaegreen.com/>

サカエグリーンはカターレ富山を応援しています

## 研究室の近況案内

工 学 部

生物工学科

## 微生物工学講座

五十嵐 康弘 教授、奥 直也 准教授、春成 円十朗 講師

私たちの研究室では創設から一貫して、自然界の生物がつくる物質、すなわち“天然物”に関する研究を行っています。生物の中でも特に微生物が生産する物質は、医薬や農業に活用されているものが多数あり、新薬の探索源として期待されています。この数年間は、これまで探索の進んでいない超希少放線菌、海洋細菌、淡水藻類などに特化して、新規物質を探索しています。

実験室では、三年後期から配属される学部生と博士前期課程大学院生を中心に、博士後期課程の留学生が加わり、熱心に研究に取り組んでいます。これまで、2006年に于林凱君（現：浙江科技学院教員）を受け入れて以来、周韜君（現：アデノプリバント社）、張智偉君（現：新疆大学教員）、陸詩洋君（現：瀋陽化工大学技官）、劉暢さん（現：河北科技師範学院研究員）ら中国から13名の留学生が在籍しました。2017年からは文部科学省の国費留学制度を利用して、ネパールからAmit君（現：Arkansas州立大学研究員）、バングラデシュからKarim君（現：Kentucky大学研究員）ら5名、インドネシアからDesyさん（現：本学研究員）を受け入れました。総勢20名の留学生の中から、これまでに9名が博士の学位を取得しました。

学生諸子の献身的な努力は多数の論文発表へと結び付き、その成果が評価され日本放線菌学会から大村賞（2018年、五十嵐）、日本感染症医薬品協会から住木・梅澤記念賞（2022年、五十嵐）を授与されるに至りました。また、私たちが微生物から発見した新規化合物は国内外の研究者から注視されており、生合成や有機合成の研究対象として取り上げられています。米国の研究者らは、私たちが放線菌から発見した抗生物質 brartemicin が結核ワクチンの効果を増強することを明らかにし、医療への応用研究を展開しています。

2025年3月時点で研究室には総勢23名、うち留学生6名が在籍し、国際色豊かな研究室生活を送っています。また研究室内の懇親会では手作りの各国料理を囲んで、相互理解と文化交流を深めています。



新入生歓迎会での集合写真（2024年10月）

集まっています

岩田栄之先生退官記念  
デバイス工学研究室大同窓会久々湊 竜童  
工学部 電子情報工学科 2016年院卒

2024年10月19日、岩田先生の退官を記念して、デバイス工学研究室の大同窓会が開催されました。当日は大曾根先生、松田先生にもご参加いただき、総勢26名が集まりました。岩田先生には、花束・寄せ書き・記念品をお贈りしました。

私にとっては、2019年以來のデバイス工学研究室の同窓会参加となりました。先生方や卒業生の皆さんと昔話を花を咲かせるうち、研究室で研鑽に励んでいた頃の新鮮な気持ちがよみがえりました。また、世代の異なるデバ研の卒業生の方々ともお話でき、大変貴重な時間となりました。



同窓会にご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。そして岩田先生、長い間お疲れさまでした。今後とも一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



研究室の近況案内

工 学 部

医薬品工学科

製薬化学工学講座

濱田 昌弘 講師

私たちの研究室は、有機合成化学を基盤に、様々な機能性分子や生理活性化合物の効率的な合成方法に関する研究をしています。現在は大きく2つの研究テーマを実施しています。

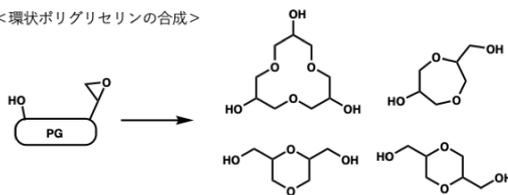
まず1つ目は、環状ポリグリセリンの合成法の開発です。みなさんご存知のようにポリグリセリンは、その誘導體(主に脂肪酸のエステル)も含めて、実に多くの分野に利用されています。しかしながら、そのほとんどが直鎖状や分岐状構造のポリグリセリンが使われており、環状構造のポリグリセリンは、合成法すら開拓されていない分野です。私たちの研究室では、3員環(三角形!)構造を持つエポキシドと呼ばれる化合物の特徴的な反応性を足掛かりとして、効率的に環状ポリグリセリンを合成できる方法を見出し、これまでに合成例のなかった環状ジグリセリン(グリセリンが2分子重合した化合物)や環状トリグリセリン(グリセリンが3分子重合した化合物)の合成を達成しました。

もう1つは、生理活性物質の活性向上を目指した分子設計とその合成法の開発です。天然に存在する生理活性物質はそのままでは薬などに利用できることはほとんどなく、何らかの構造的な工夫が必要となります。その一環として、

私たちの研究室ではビヘテロアリアル構造に注目し、その効率的な合成方法を見出しました。この手法を用いることで、簡単に様々な置換基を導入した化合物群を合成することが可能です。私たちが合成したこれらの化合物の中に最近新しい生理活性を示す化合物も見つかり、現在その構造活性相関研究を実施しています。

研究室自体は大きい方ではありませんが、少ないながらも精力的に研究に取り組んでいます。卒業生も研究職を始めとして様々な分野で活躍しています。私たちの研究室は中央棟の最上階にあり、研究環境も充実しています。これからも、「簡単に効率的に」を合言葉に新しい合成法の開発を進めていく予定です。

<環状ポリグリセリンの合成>



<ビヘテロアリアル化合物群の網羅的合成>



図(私たちの研究室で合成した化合物)

同窓会日誌

富山県立大学同窓会 炭谷優子事務局長の日誌です。

2024年8月3日 本日、富山県立大学では恒例の「ダ・ヴィンチ祭」が開催されています。

朝から気温がぐんぐん上がる猛暑日となりましたが、それにもかかわらず、学内には多くの親子連れでにぎわい

を見せています。

今年も学生スタッフの皆さんが工夫を凝らし、誰もが楽しめるようなプログラムがたくさん用意されており、ペットボトルロケットの打ち上げを見学しましたが、予想以上に飛んでいて驚きました。



次世代のまちを創造する



TERASHIMA CONSULTANT

〒930-0985 富山市田中町一丁目14番10号

未来のはじまりは「X」



NiX JAPAN 株式会社

(旧社名:株式会社新日本コンサルタント)

本 社 富山市奥田新町1番23号

東京本社 東京都千代田区東神田二丁目5番12号



HP



Instagram



わたしたちは、  
優しさを印刷しています。



エコアクション21  
認証番号 0001870



企画・デザイン・印刷・製本・ソフト開発

キクラ印刷株式会社

〒933-0322 高岡市樋詰48-2

[TEL]0766-31-2794 [FAX]0766-31-3526

富山県JAグループ



## 研究室の近況案内

情報工学部

データサイエンス学科

### システム数理学講座

松本 卓也 准教授

2024年度より情報工学部データサイエンス学科に着任いたしました。私のバックグラウンドとしての専門は、システム最適化やシミュレーションです。前職の民間企業では、専門を活かした道路トンネルの換気制御最適化や火災時の煙拡散のシミュレーションを行う一方、LiDARを用いた車両検知システムの開発も行っていました。

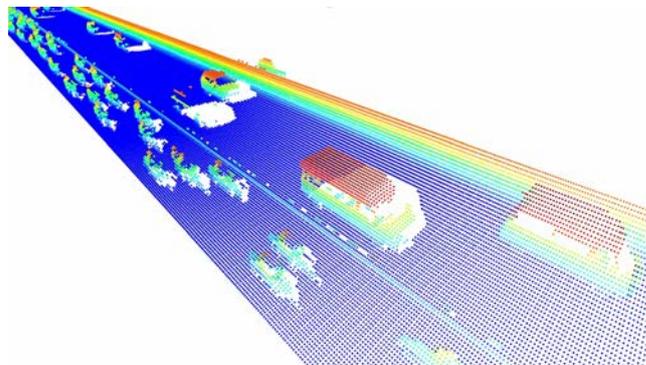
今年度新設されたデータサイエンス学科には1年生しかおらず、私の研究室にはまだ学生がいませんが、同学科の中村先生・榎原先生のご協力のもと、中村・榎原研究室の情報システム工学科の学生とともに研究を進めています。

本年度は、システム最適化、および、LiDARを用いた車両検知に関する研究を両輪で進めました。例えば、災害時の避難所への物資配分を迅速かつ効率的に行うための最適化手法について、行政機関と民間企業と協力して産学官により研究開発し、実証実験を行いました。また、工場や家庭の太陽光発電と蓄電池を活用したエネルギーマネジメントシステムの研究開発を複数の企業とそれぞれ共同で行っております。一方、LiDARを用いた車両検知の研究については、深層学習を用いた点群処理により、高い車両検知精度と車両クラス分類能力を持つシステムの研究を進めています。本年度の成果と研究を共に進めてくれた学生が学会で発表し、賞をいただくことができました。

今後は、最適化・シミュレーション・機械学習アプローチ・データ分析の社会システムへの応用・貢献の研究を進

めつつ、データ駆動とモデル駆動を融合したシステム論の構築を目指していきたいと考えています。

2026年度にはデータサイエンス学科が入る新棟が完成し、その翌年には4年生の研究室配属が始まります。そのときには研究室の学生とともに質の高い研究を行い、成長した学生が社会で活躍できるようサポートしていきたいと考えています。



LiDARによって取得された車両点群



SSI2024 受賞時の様子

## 集まっています

### 生物工学科 生物反応化学研究室同窓会

磯部 貴弘

工学部 生物工学科 1999年院卒

11月2日(土)に、工学部医薬品工学科の中島範行教授の生物工学科在籍時の生物反応化学研究室の同窓会を開催しました。修了生(修士課程生物工学専攻の1~10期生)および卒業生(生物工学科1~10期生)に当時のスタッフである岸本教授(現 京都大学)と濱田講師(現 医薬品工学科)が加わり、計37名が富山市に集いました。

当日は、2024年の富山マラソン開催日の前日にあたり、かつ夕方まで大雨警報が発令されるなど、遠方から参加していただいた方にはいろいろご苦勞をかけたましたが、盛大に開催することができました。

同窓会では、各学年の代表が近況を報告し、中島先生からひと言ずつ思い出話を聞かせていただき、和気あいあいとした雰囲気楽しい時間を過ごすことができました。

中島教授は、2026年度で定年を迎えられます。研究室の修了生・卒業生と再会できたことを先生も喜んでおられました。研究室の仲間と再会できたこともうれしかったですが、先生方が卒業生と楽しそうに談笑しておられる姿を見て、開催してよかったですと感じました。



研究室の近況案内

情報工学部

情報システム工学科

情報基盤工学講座

森島 信 講師

情報システム工学科情報基盤工学講座の森島研究室は、新年度で設立から4年目の比較的新しい研究室です。今年の3月までに第1期と第2期の学部生計6名が卒業し、修士の第1期生はまだ在学中です。

コンピュータで行う計算の高性能化やAI(機械学習)を専門としており、ブロックチェーンの処理の高速化や、強化学習と呼ばれるAIの一種の高性能化を主な対象として研究を行っています。ここでは、研究対象の一つである強化学習について簡単に説明します。強化学習は、ロボット制御やネットワーク制御等の効率化への応用が期待されている技術で、例えば、どのようにロボットを動かしたら効率的かを学習するものです。その時の学習では、ロボットをたくさん動かしてみて結果どうだったかを学習していくの

ですが、理論研究の段階でそれを行うと時間がかかりすぎるため、コンピュータ上で完結するテレビゲームを使ってゲーム内でどのように動かしたら効率的に点数が稼げるか、という問題を解く研究を行っています。

図1は、ゲームを複数同時に動かして、その結果から学習を行っている様子です。図には、実行しているブロック崩しのゲーム画面と学習の進捗状況などを表すグラフが表示されています。コンピュータが0からゲームの攻略を行うためには、大量の試行錯誤が必要で、同時に複数実行することで試行回数を稼いでいます。同様に、ロボットで実運用する時も多数のロボットを動かして、その情報を集約して学習する必要が出てきます。このように、たくさんのゲームやロボットからの情報を集めて学習するためには、コンピュータ同士で通信が頻繁に行われます。その通信コストが大きくなってしまいうため、情報を取捨選択してあまり通信を行わないようにする方法等、様々な工夫をして通信を伴う強化学習の高性能化を行う研究を行っています。

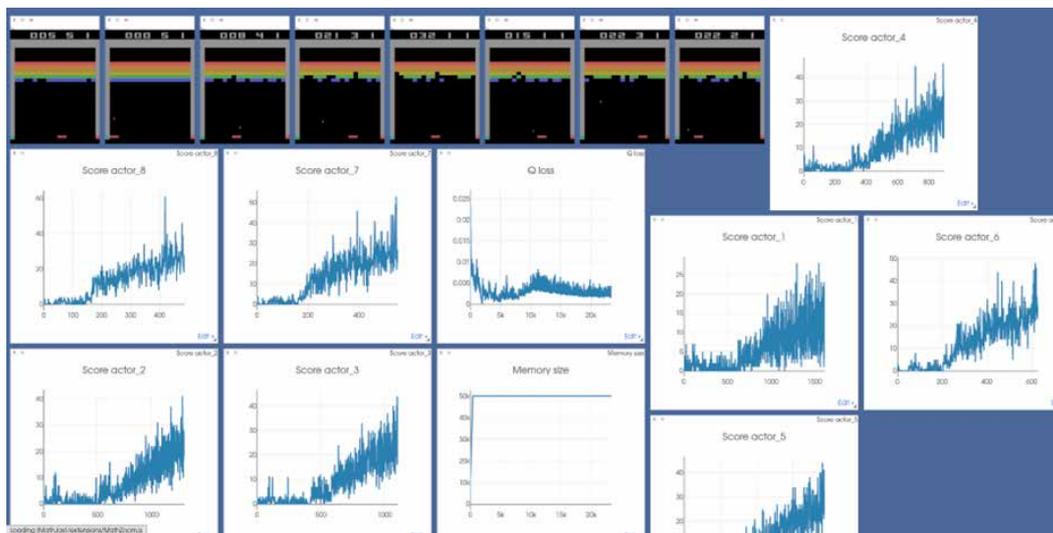


図1 強化学習でコンピュータがゲームを攻略する様子



**松原建設**  
MATSUBARA CONSTRUCTION CO., LTD.

<http://matsubara-kensetsu.com/>

未来の自然をデザイン それが私たちの仕事です。



**北陸コンサルタント株式会社**

代表取締役会長 榮 知之  
代表取締役 増山 繁雄

本社/富山市黒瀬 192 番地 TEL.076-493-7717  
<http://www.hoku-con.co.jp>



**マルタカハウス 家**  
丸高木材株式会社の家

専務取締役 一級建築士  
**片境 清久** (S6L.衛生工卒)

(一社)富山県建築士事務所協会 理事

〈本 社〉〒934-0058 耐水市川口997  
☎(0766)82-5101 FAX 84-3637



## 研究室の近況案内

情報工学部

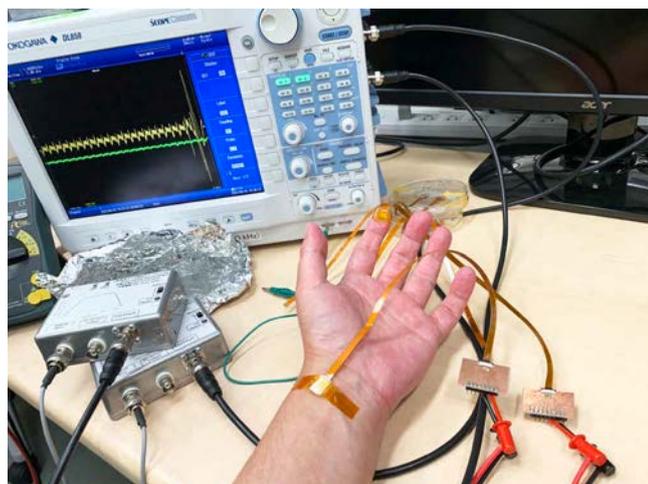
知能ロボット工学科

## 知的電子デバイス講座

塚越 拓哉 准教授

2019年に工学部知能ロボット工学科に着任した塚越拓哉です。2024年度からは新たにスタートした情報工学部に所属しています。野田堅太郎先生とともに研究室を運営しています。Micro Electro Mechanical Systemsの頭文字を並べてMEMS（メムス）と呼びます。私たちは世界でもトップクラスに高感度のMEMSセンサを設計・試作する技術を保有しており、これを使って人をはじめとする生き物の動きを研究しています。例えば情報システム工学科の唐山先生、崔先生らと共同で、モーションキャプチャとセンサ付きシューズを併用したスポーツの計測を進めています。小さな生き物としては、細胞1個の力を計測することができます。

生き物の動きは筋肉だけでなく、臓器や血液の動きも含まれます。最近では、小さなセンサで脈波、心音、筋音、



脈波計測の様子



自前のクリーンルーム

## ～県大発 社会人向けセミナー2025～

地域連携センターでは、下記のような社会人向けセミナーを実施し、学びたい意欲を持った方々へ、学び直しの機会を提供しています。

## ●キャリアアップ支援講座

工学、情報工学や看護学の知識など、仕事に役立つ技術や知識を深め、社会人のスキルアップ・キャリアアップを支援する講座を開講しています。

毎年9月～12月頃に開催（HP及びパンフレット等でご案内予定）しています。



## ●企業向けオーダーメイド講座

企業の個別課題に合わせ、大学と一緒に作り上げる講座を実施しています。講座のテーマや内容に加え、開催日時・場所などについても調整可能です。実習・実験・グループワークも可能で集合教育に最適です。

2025年度も社会人向けのセミナーを  
順次開講予定！

※2025年度は「機械システム工学コース」「知能ロボット工学コース」「看護学コース」の予定

## ■お問い合わせ

富山県立大学 地域連携センター  
(射水キャンパス中央棟1階)

時間：9:00～17:00

休日：土・日曜日・祝日

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

TEL：0766-56-0604

FAX：0766-56-0391

tpu-liaison@pu-toyama.ac.jp



## DX 教育研究センターの近況案内

DX 教育研究センター所長  
唐山 英明 教授

## 社会インフラDX分科会の紹介

当センターで推進している、屋外・フィールドDX分野の取り組みとして、令和6年3月より、「社会インフラDX分科会」を発足させました。

本分科会では、北陸地域の社会インフラ課題と社会インフラDXのあるべき姿を明らかにし、デジタルを活用した解決策や対応方針を研究・社会実装していくために、当センターがハブ「拠点」となって、社会インフラを実装・維持管理する県内の5つの自治体、12の企業および富山県立大学教員17名が参画し、産官学での活動を進めています。

令和6年度は、これまで8回の分科会を開催し、人手・時間・費用に限られる中で、社会インフラ点検の効率化や省力化、保全対象のトリアージ、コスト縮減などの課題に対して、ニーズ・シーズの情報共有や「デザイン思考」を取り入れたワークショップを通して議論し、活動テーマとして「橋梁点検におけるDXイノベーション」を推進していくこととしました。

今後は、具体的な活動の中で、共同研究を推進し社会実装に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。



課題抽出ワークショップの様子

DX 教育研究センター研究員  
大倉 裕貴 講師

## 社会人向けセミナーの紹介

DX 教育研究センターでは、令和4年4月のセンター開設以降、DX 推進に必須なスキルを身に付けていただくことを目的として、社会人向けセミナーを開講しています。

DXのD(デジタル)に向けては、企業や組織での「デジタルツール活用」や「プログラミング技術」、業界ごとのニーズに合わせたより実践的な技術を学んでいただきました。

また、X(トランスフォーメーション)に向けては、未知の問題・課題に対して最適な解決手法を身に付ける「デザイン思考」、そして複雑な課題や変化に対するアプローチ手法「システムックデザイン理論」をベースとしたマインドセットを身に付ける講座を開講しています。

令和6年度に開講した「とやま共創実践ラボ〜共創型実践に向けたマインドセット養成プログラム〜」では、地元企業だけでなく、官や学の参加者も交えた多様なメンバが集まり、不確実で漠然とした未来の課題にどう向き合い、相互の対話によって共創を実践していくかのマインドについて、様々なワークショップを通して体現していただきました。

今後もデジタル技術を学術として研究・教育することに加えて、研究成果を地域と産業と「課題が何であるか」から対話をスタートし、深く手を取り合って、生きた技術による社会変革につなげて行きたいと考えています。



「とやま共創実践ラボ」の様子

## 同窓会日誌

つづき

2024年4月15日 射水市の鉄板焼店「マリアージュ」にて、退任された下山前学長との会食の機会を持ちました。在任中は同窓会活動にも深いご理解を示してくださり、機関誌『千瓢』の巻頭対談をはじめ、数々の場面で温かくご協力いただきました。その感謝の気持ちをお伝えする場となり、最後にはシェフからのメッセージ入りデザートプレートも用意され、心に残るひとときとなりました。



◀「とやま共創実践ラボ」ワークショップの様子



## 退職にあたり



環境・社会基盤工学科  
川上 智規 教授

平成4年(1992年)に富山県立大学短期大学部環境工学科に赴任し、現在に至るまで、大気環境や水処理といった分野で教育・研究を行ってきました。赴任当時、技術系の短期大学は全国的にも珍しく、ユニークな教育を展開してきました。しかしながら、科学技術の進展に伴い、体系的な技術の習得には短期大学の2年間では十分ではなくなってきました。そこで四年制大学への移行は必須となり、学科を挙げて教育・研究のレベルアップに努力を重ねてきました。

そして平成21年(2009年)年ようやく工学部の環境工学科を開設することができました。さらに学年進行とともに大学院も設置され、教育研究活動が大きく展開していきました。スリランカ、インドネシア、チュニジアなど海外の大学との学術交流協定を結ぶことができました。協定に基づき博士後期課程に留学生を迎え入れ、博士(工学)の学位を授与することができたのは本当にうれしかったです。このように多くの経験を積むことができたのは、教職員の皆様のおかげです。長い間本当にありがとうございました。



時も、自己理解のために本書を読んでもいいかもしれませんが、認知は感情にも大きな影響を与えますし、感情もまた認知に大きな影響を与えます。

## 2 堀越 勝著『感情の「みかた」 辛い感情も、あなたの「見方」になります。』(いきいき)

2冊目はその感情に焦点をあてた本になります。感情は、良かれ悪かれ人に大きな影響を与えます。特に、悲しみ、怒り、不安、寂しさなどは、持っているとしんどくなる感情で、“ネガティブな感情”と言われてたりします。みなさんは「こんなネガティブな感情は無くなればいいのに!」と思うことはありませんか。実はネガティブな感情も、人にとっては大切なものなんです。この本では、ネガティブな感情をどう理解すればよいのかを臨床心理学の観点から、わかりやすく説明しています。感情が私たちの中でどのような働きをしているのか、そしてその感情をどのようにしたら自分の「見方」にできるのかを知ることで、今まで以上により良いネガティブな感情とのつきあい方ができるようになるのではないかと思います。

## 3 パット・バルマー著 広瀬 弦画 Disk Potato House 訳『怒ろう Anger can be healthy』(径書房)

3冊目は絵本になります。こちらも感情に焦点をあてていますが、中でも私たち自身や人間関係に大きな影響を及ぼす怒りに焦点をあてています。怒りの感情は「悪いもの」「持つべきではないもの」「だめなもの」と思っている人が多いのではないかと感じていますが、皆さんは「怒り」感情をどのように思っているのでしょうか。2冊目を読むと怒り感情も含めてその大切さがわかるかと思いますが、こちらは絵本になっているので、優しく寄り添ってくれるように怒りについて教えてくれます。絵本だからと言って決して子供向けというわけではありません。大人にもとてもところに響くことと思います。難点は、少し手に入りづらいという点です。もし見つけた際は、ぜひ手に取って読んでみてもらえたらと思います。



## 竹澤 みどり (たけざわ みどり)

教養教育センター准教授



私の専門領域は本学に専門学部はありませんが、心理学になります。その中でも、臨床心理が専門です。臨床心理学とは、簡単に言うとカウンセリングや心理療法、メンタルヘルスに関連する分野になります。そのため、公認心理師や臨床心理士の資格も持っています。

今回、私给大家介绍するのは、こころがしんどくなったら(できれば、ひどくしんどくなる前に)、つらい気持ちが湧いてきたら(できれば、つらい気持ちで身動きが取れなくなる前に)、読んでいただければもしかすると、何かほんの少しでも、お役に立てるのではないかと思います。本を紹介させていただきます。

### 1 大野 裕著『こころが晴れるノート』(創元社)

ストレスを言う言葉を耳にすることが多い時代かと思えます。それはストレスを感じる場面が多くなっているからかもしれません。本書は、気持ちが沈んだり、不安になったり、悩みを抱えているときに、読んだり書き込んだりすることでそれらを理解したり対処することを目指して書かれたものです。著者は認知行動療法の日本における第一人者で、本書は特に認知療法の視点から、一般の人向けにわかりやすく書かれています。認知とは、現実の受け取り方やものの見方のことで、その認知に働きかけて心理的なストレスを軽くしていく治療法を認知療法と言います(本書より)。本書を読み進めつつ、書き進めることで、自分の考え方の癖に気づく、つまり自己理解が深まるという効果もあるかもしれません。ですので、ストレスがない状態の

江添 良作 (えぞ えりょうさく)

大谷技術短大 草農業科 6 回生 (1970 年卒業)



心に響いた三冊の本

私は現在 75 歳、世間でいう後期高齢者ですが、振り返ってみると 75 年などアツという間です。在学中は軽音楽クラブに入部し、ジャズ部でドラムを叩いていました。足立原貫先生や仲間たちとのほろ苦くも熱い青春でした。稲葉保先生の紹介で富山県農業共済組合連合会に就職して 40 年間勤務、60 歳で定年退職しました。

これからは気ままに「自分を生きる」と決め、家業の百姓を片手間に野菜作りを 5 年間学び、緊張感を持続させるため野田雄一館長にお願いし吹きガラス講座を受講、その縁で 10 年ほどガラス工房に通わせてもらい、また図書館から毎月 10 冊ほど本を借り乱読に明け暮れました。楽しみは富山地酒クラブの初期からのメンバーと県内の酒蔵を巡り、居酒屋で飲み友と過ごすひと時でした。

突然ですが、皆さん「イタイタイ病」を知っていますか? 「四大公害裁判の一つとして聞いたことがある、神通川流域で発生した骨が折れる悲惨な病気」この程度の知識の人がほとんどではないかと思えます。私の祖母はイタイタイ病患者でした。父の江添久明は裁判勝訴後も患者救済や汚染された土壌の復元、神通川を清流に甦らせる発生源対策を柱に住民運動のリーダーの一人として 40 年余りの半生を捧げてきました。その父が亡くなると私は否応なく関わらざるを得なくなり、平成 27 年から富山県立イタイタイ病資料館の語り部をしています。令和 4 年 4 月から「一般財団法人神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会」の代表理事、令和 6 年 4 月からは「イタイタイ病対策協議会」の会長も務めることとなり、裁判勝訴から 53



年風化は避けられない中で今日もなお多くの課題があり、その責任の重さに体力と頭脳が追い付かず悪戦苦闘の日々が続いています。

今回、『千瓢』の編集者からの原稿依頼に何とか応えるため、最近読んだ公害関係から心にずっとときた二冊の本と気分転換に読む時代小説で三冊の本としました。

① 「いのち」のために闘いつづける

向井嘉之著 (能登印刷出版部)

著者はジャーナリストとしてイタイタイ病と関わってきた 60 年の歩みを、住民運動のこれまでとこれからの活動についてまとめた力作で、私も執筆にあたり取材を受けた一人として関心深く読ませていただいた。

② 「原発と司法」国の責任を認めない最高裁判決の罪

樋口英明著 (岩波書店)

元裁判官で大飯原発 3, 4 号機の運転を差し止めた判決を出した。昨年のお盆に発生した能登半島地震の震源地は「珠洲原発」の計画があった地であり、もしも住民の反対運動がなければ珠洲原子力発電所は直下型地震によって福島原発事故を超える過酷な事故に至る可能性が高いとしている。

③ 「影武者 徳川家康 上中下」 隆慶一郎著 (新潮文庫)

関ヶ原合戦の最中、徳川家康が暗殺され影武者と入れ替わる。二代将軍秀忠・柳生宗矩との暗闘と自由と平和を求めて家康として颯爽と生き抜いた影武者を描いた時代小説、私は影武者説を支持します。1984 年 66 歳で急逝、作家活動は約 5 年間と短く作品が少ないのが悔やまれない。



広告掲載企業一覧

- (株) 雄川コンサルタンツ
- キクラ印刷 (株)
- (株) 建成コンサルタント
- (株) 国土開発センター
- (株) サカエグリーン
- 三協立山 (株)
- (株) 上智
- 中越興業 (株)
- (株) 中部設計
- (株) 寺島コンサルタント
- 富山県農業協同組合中央会
- 富山県第一自動車学校
- Nix JAPAN (株)
- (株) 婦中興業
- 北陸コンサルタント (株)
- 松原建設 (株)
- 丸高木材 (株)
- 山本理化



同窓会正会員数

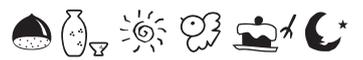
13,101 名

(2025 年 4 月 1 日現在)

お願い：住所不明会員が年々増えております。該当者をご存知の方は、事務局まで連絡いただけるようお願いいたします。



# 私の好きなもの



石見 嘉治 (いしみ よしはる)

工学部 機械システム工学科 2 期生 1995 年卒

## 1. 本 (もっと早く気づいてれば…)

学生時代は、本よりも運動を好んでいましたが、年を重ねて、ようやく本の面白さに気付いた。ジャンルや作家に拘りは無く、最近は時代物にはまっていて、お勧めは、井原忠政さん作「三河雑兵心得」シリーズ、徳川家康の出世街道を部下目線から表現しており、時代を超えた疑似体験に病みつき。



## 2. 運動 (やっぱり運動も面白い)

朝間野球を引退してから、ゴルフに目覚め、道具を揃えたものの成長の壁にぶつかり、最近では努力と結果が結びつき易いと言われているジョギングと筋トレで健康促進。体形変化の実感はないけど、「筋肉は嘘をつかない」の言葉を信じて活動中。



## 3. 植物 (生命力が面白い)

- ① 100均で買ったサボテンから子株増殖。
- ② 食べた柑橘類の種から発芽した。種類を忘れてしまい、正体は実がなるまで分からない。「桃栗三年柿八年、…蜜柑のまぬけは20年…」待ち遠しい。

③ 山で採取したアケビを食べて、その種から実がなった。味は絶品！ 高級フルーツを家で収穫できる事に感謝。次は何の種を捲こうか思案中。



大家族サボテン

正体不明柑橘類

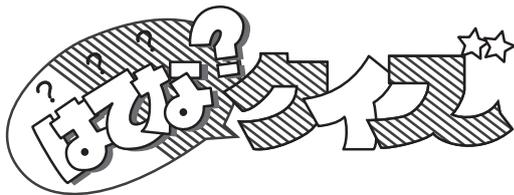
アケビ

## 《近況》

昨年、幹事年ということで友人に誘われ初めて同窓会に参加した。29年振りの同窓生ともすぐに打ち解け、語り、笑い、深酒し、刺激をもらった。表現が正しいか不安であるが、よいストレス解消となった。次の再会を楽しみにしている。



左端が筆者



富山県立大学同窓会が発足して今年で何年でしょうか？千瓢会と富山県立大学工学部同窓会が合併して富山県立大学同窓会が生まれました。

ヒント：10 ページの「この数字をご存じですか」を見て下さい

答えは ○○年

☆同封のはがき、または WEB で答えと住所・氏名を書いてご応募下さい。正解者 10 名に図書カード (500円) 進呈。正解者多数の場合は抽選とします。締切 9 月末 (当日消印有効)。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。

## 応募先

〒 939-0398 富山県射水市黒河 5180  
富山県立大学同窓会事務局

WEB または同封のはがきで  
お申し込みください。  
締切 9 月末 (当日消印有効)

応募フォーム



## 「千瓢」19号クイズの答え

同窓会では大学生協と協力して学内食堂での利用代金を毎月第 1 水曜日に同総会デーと銘打って補助しています。その額は何円ですか。

答えは 100 円

※現在は、月 2 回の実施で、デザートプレゼントなど楽しい企画を行っています。

正解者の中から抽選で 10 名の方に、図書カードをお送りしました。

おめでとうございます。



# 大学ニュース

## 役職教員

- 学長 小笠原 司 教授
- 理事・副学長(教育研究) 中島 範行 教授
- 副学長(情報戦略) 鳥山 朋二 教授
- 副学長(コンプライアンス) 岡本 恵里 教授
- 工学部長・工学研究科長 坂村 芳孝 教授
- 情報工学部長 高木 昇 教授
- 看護学部長・看護学研究科長 松井 弘美 教授
- 看護学専攻科長 越田 美穂子 教授
- 学生部長 岡本 啓 教授
- 入試・学生募集部長 中川 慎二 教授
- 附属図書館長 福原 忠 教授
- 地域連携センター所長 堀川 教世 教授
- キャリアセンター所長 伊藤 始 教授
- 情報基盤センター所長 大寺 康夫 教授
- 生物・医薬品工学研究センター所長 加藤 康夫 教授
- DX教育研究センター所長 唐山 英明 教授
- 教養教育センター長 平野 嘉孝 教授
- 工学部学科長
  - 機械システム工学科 真田 和昭 教授
  - 電気電子工学科 吉河 武文 教授
  - 環境・社会基盤工学科 脇坂 暢 教授
  - 生物工学科 占部 大介 教授
  - 医薬品工学科 磯貝 泰弘 教授

- 情報工学部学科長
  - データサイエンス学科 高木 昇 教授
  - 情報システム工学科 中田 崇行 教授
  - 知能ロボット工学科 小柳 健一 教授

## 昇任

- 工学部
- 機械システム工学科 大嶋 元啓 教授
  - 環境・社会基盤工学科 中澤 暦 准教授
  - 環境・社会基盤工学科 兵動 太一 准教授
  - 医薬品工学科 河西 文武 准教授
- 情報工学部
- データサイエンス学科 高野 博史 教授
  - データサイエンス学科 本吉 達郎 教授
  - データサイエンス学科
    - アントニオオリヴェイラ ズィンガレネ 准教授
  - 情報システム工学科 崔 高超 講師
  - 知能ロボット工学科 森川 大輔 准教授

## 退任

下山 勲 学長(令和7年3月31日を以て退任)

## 退職

- 川上 智規 教授 (環境・社会基盤工学科)
- 日比野 敦 准教授 (機械システム工学科)
- 岩田 栄之 准教授 (電気電子工学科)

## 読者プレゼント 10名様

今回のプレゼントは、江政商店「氷見の恵み詰め合わせ」です。



江政商店ネットショップ ▶

海産物の製造・販売を手がける江政商店より、同窓会限定のオリジナルセット「氷見の恵み詰め合わせ」をプレゼント!

セット内容は、人気の「焼きちんみ」や「ほたるいか素干」など、江政商店自慢のオリジナル商品をたっぷり詰め込んだ充実の内容です。氷見の味覚を全国に届ける、江政商店ならではの逸品をぜひご家庭でお楽しみください。

なお、江政商店には実際にインタビューにも伺っています。江幡社長の想いや取り組みについては、8ページの記事もあわせてご覧ください。

### ～抽選で10名にプレゼント～

#### ご応募方法:

「氷見の恵み詰め合わせ 希望」と明記のうえ、はがきまたは同窓会ホームページよりご応募ください。

#### 【応募先】

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180  
富山県立大学同窓会「千瓢プレゼント係」宛  
ホームページ:

<https://tpu-dosokai.jp/>

#### 応募締切:

2025年8月31日(日) 必着  
たくさんのご応募をお待ちしています!

応募フォーム



### — 前号プレゼント当選者発表 —

Sablisch TOYAMA『ヴィーガンアイスクリーム』

- 鈴木 康裕 さん 家永 菜摘 さん
- 橋本 美加子 さん 山本 晶子 さん
- 角田 裕也 さん 岡田 美紀 さん
- 中村 桃子 さん 白井 雅大 さん
- 三川 八千雄 さん 原田 英幸 さん

当選おめでとうございます。

## エトワール会に参加して感じたこと

奥原 正樹

1994年卒 工学部 電子情報工学科1期生



師走の日曜日の朝（2024年12月1日）、昨夜からの雨も小降りとなり、西の空には虹がかかっています。それも2重！！ なんだか良い一日になりそうだと思います。駅に向いました。

久々の新幹線に乗り、やがて関東近くなると、雲一つない快晴。太陽の光が眩しく感じるくらいです。河川敷では散歩や体操している人、ベンチでふとんを干している人、それぞれが、この天気を喜んでいるように見えました。

今回、初めて関東のエトワール会の集まりに参加させて頂きました。技術短期大学時代から33年となるそうで、まさしく「継続は力なり」、世話役の方やこれまで参加して頂いた方の絆と意思の積み重ねかと感じました。会員の皆さんが、当時の写真アルバムを見せて下さいました。初回は船内のレストラン、デッキの上での集合写真、今見ても洒落ています。横浜ですものね。その後の毎年の写真がずらり、写真を見ながら、「この写真の人は、あの人だよ」「こんなこともあったな」と教えてもらいながら、ページを進める。なんだかほのぼのとした時間を過ごしました。

毎年、開催することで、皆に会える楽しみもあり、この会を楽しみに普段元気に過ごされていることもあるかと思えます。今回も、富山から参加された方がいらっしゃいました。この体力と行動力、脱帽です。うれしい限りです。一方、「この年になると、近くであっても、なかなか参加

できない」という声がちらほら。来たくても、体調、家族などさまざまな理由で参加できない人もいらっしゃることを知りました。

本校では、毎年夏に同窓会を開催していますが、他にも同じ様な思いをされている方がいらっしゃるのではないかと？ なつかしい仲間と会い、思い出話に花をさかせたり、近況を話しあったり、少しでも日々の生活が豊かになることを手助けしたいと思い活動しています。参加できない方も違った形での参加ができるなど、従来通りでなく、いろんな開催方法を模索する時期にきているのではないかと感じました。

2次会で、N自動車の本社展示場内のSカフェで飲んだカフェオレ。いつもよりも格別においしかった。都会の雑踏のそばの静かな一角、高層ビルの窓に反射した夕焼けが水面に輝いているロケーション、そして、なにより仲間との時間共有のおかげかな。自分にとっても良い思い出となりました。参加者の皆様 ありがとうございます。そして、次回のために、お体をご自愛くださいませ。



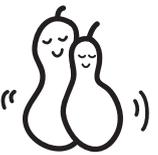
会食後は恒例のリバーサイドカフェにて寛ぐ

関東のエトワール会に参加してみたい方は事務局までご連絡ください。

### 研究室・クラス同窓会を開きませんか？

— 同窓会開催に関する補助のご案内 —

富山県立大学同窓会では、研究室・クラス、地域単位で同窓会を開催される会員の皆さまに、会費の補助を行っております。



#### ■ 補助内容

- ・会員1名あたり1,000円を補助いたします
- ・10名以上の会員が参加する同窓会が対象です
- ・先生方をお招きの場合は、2名(1名あたり1,000円)まで補助可能です

代表の方は、事前に同窓会事務局までご連絡ください。補助金の受け取りには、開催後に「開催レポート」と「集合写真」の提出が必要となります。確認後、補助金をお渡しいたします。

同窓生との再会の機会づくりに、ぜひお役立てください。



第34回エトワール会（Ginger's Beachにて）



集合写真（筆者左上）

< 3枚の写真：澤嘉昭さん提供 >

# ポートランド州立大学 語学研修

# 富山・バーゼル 交流促進事業

期間を通して現地家庭でホームステイをしながら、アメリカ合衆国オレゴン州のポートランドにある州立大学にて英語授業及びフィールドワークを含む選択授業（ポートランド大衆文化・アメリカンビジネスの2種類から選択）を受講しました。

研修期間：2024年8月18日（日）～9月9日（月）

参加者 ※学年は当時

生物工学科 1年 成田 美音  
生物工学科 3年 板鼻 夏希



皆さんのレポートはホームページに掲載しております！

富山県では、今後の県内業界をリードするグローバル人材の育成を目的に、医薬品または医薬品関連分野で研究に取り組む富山大学・富山県立大学の学部生（3年次以上）および大学院生を対象として、スイス・バーゼル大学への短期派遣を実施しました。派遣先では、バーゼル大学薬学部での講義や実習、研究室の見学に加え、バーゼル地域の製薬関連企業の訪問や交流セミナーへの参加を行いました。

派遣期間：2024年11月2日（土）～11月18日（月）

参加者 ※学年は当時

工学研究科 生物・医薬品工学専攻2年 阪野 奨太

（同窓会より、参加された皆さんに助成金をお渡しいたしました。）

## 異なる文化、価値観

板鼻 夏希（いたはな なつき） 生物工学科 3年

私は今回の体験を通して、異なる文化、価値観で生きることの大変さがよくわかった。幸運なことに、ポートランドで日本語の教師をしている知り合いとファーマーズマーケットに行った。そこでアメリカで感じた日本とは異なる点、感動した点、困った点を話した。よく海外は電車が時間通りに来ないと聞くが、ポートランドではおおむね時間通りに電車はついた。治安がいいところは聞いていたが、マリファナや銃など日本では身近に無いものが存在していた。そして私が最も驚いたのは店員の接客である。私は愛想がなく、代金をピッタリ渡すと嫌がられるというイメージを持っていた。しかし実際は、どのお店でも優しく対応してくれた。愛想があるというわけではないが、会計の終わりには Thank you や Hava nice day と、Excuse me と困っていることを伝えると教えてくれた。日本のほうが優しいのではと思うようなこともあった。そして日本でもアメリカ

でも似たようなところがあるが、やはりアメリカの衛生観念や道徳観に困らされることがあった。ホストファミリーとディナーを食べるときにテーブルをセットするのだが、さっきまで椅子を上げていた机で食事をした。またテーブルを拭かないため、ほこりを見つめたままディナーを食べた。さらに食器はすべて使い捨ての容器やカトラリーで、料理の使った鍋は3日に一度洗い、残したものはそのまま捨てていた。フードロスやSDGsというのはこのような習慣を反映してできたものなのだと考えさせられた。

他にも今回のプログラムを通して出会った他大学の友人たちには同じ日本人だったが、驚かされるが多かった。普段関りのあまりない学部の話しを聞くのは面白かったし、一緒に活動しながら、ときに英語で助け合ったことはとても貴重な経験だった。英語圏で生活しながら同じ日本の大学生たちと学べたことはモチベーションの持続にもなり、英語力を伸ばす一助になった。

## 富山県立大学同窓会へご寄付をいただきありがとうございました

たくさんの方から寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

この芳名録は以下の基準で掲載しております。

■2024年6月1日から2025年4月30日までに、5口以上ご寄付いただいた方々を掲載しております。

■お名前は順不同とし、肩書を省略して掲載しております。

■お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。

■ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、同窓会事務局までご連絡ください。

岡田 滋 様	岩倉 鍾基 様	松田 敏弘 様	長谷川 悟 様	澤 嘉昭 様
藤田 人志 様	鈴木 清美 様	平 好博 様	中野 基一 様	植松 哲太郎 様
得永 栄治 様	湯浅 ひとみ 様	高橋 多美枝 様	水野 弘志 様	小橋 きみお 様
岡田 敏美 様	芝田 信栄 様	江添 良作 様	渡辺 正文 様	若林 伯治 様
三井 啓揮 様	長田 弘明 様	谷内 秀孝 様	高田 満 様	
位寄 史好 様	奥田 都 様	笹島 増成 様	野口 雄次 様	ほか匿名 29 名様
楠井 隆史 様	水原 清晴 様	荒木 甫 様	中山 裕美 様	

寄付金総額 **971,259** 円（総件数 188 件）

※寄付金総額は、払込手数料を差し引いた後の金額となっております。

寄付金は1口2,000円です。（何口でも可）5口以上寄付をしていただいた方にはプレゼントをお送りします。お振込方法等の詳細については、別紙をご覧ください。

## 2025年度同窓会総会のお知らせ

定期総会・記念講演会・懇親会

開催日 2025年8月9日(土)

富山県立大学同窓会は、今年で設立 20 周年を迎えます。これを記念して、環境問題など幅広い分野で知られる工学者・武田邦彦氏をお招きし、記念講演会を開催いたします。同日には総会や懇親会も行いますので、同じ学び舎で過ごした仲間とともに、節目の年を分かち合うひとときをお楽しみください。

▶詳細は、2ページをご覧ください。

## 声

◆得永栄治(大谷・衛生工学・1965年卒)

内川(新湊)は、昔はあまりきれいな川ではなかったが、その後訪れるごとにきれいになり、今では観光名所なるほどとか、一度ゆっくり訪れてみたいとも思っている。伏木曳山もみたい!

◆本吉裕子(大谷・応用数学・1968年卒)

いつも『千瓢』なつかしく読ませてもらっています。なかなか行けなくなり(高齢のため)さびしく思っています。皆様の活躍をお祈り申し上げます。

◆位寄史好(技・農林土木・1981年卒)

1981年に卒業して、早いもので今年2024年に退職しましたが、色々な人達や仕事にめぐり会い43年間、何とか勤めました。ところで、立派な建物になった県立大学を見て、私達の当時の授業はアナログなモノであったが、その分、考える時間もあり、案外ゆったりしたものであったが、今はDXでスピード化されデジタル時代になり、考える余裕が少なくなってきたら、考えさせるが、コレも時代のすうせいかと、今の学生に対して複雑な思いを持ってしまいます。しかし、柔軟な発想でガンバッテ欲しい。

◆荒永隆司(技・機械・1988年卒)

毎号、楽しみに拝見しておりますが、最近は大学の新しい姿についてのニュースが沢山あり、母校の将来性ある変革にいつも胸が高鳴っております。また、今号には前回開催された同窓会総会の記事も載っており益々身近な機関誌になったなあ

嬉しく思っています。これからも卒業生や在校生が盛り上がり、大学が大いに発展することを祈念申し上げます。

◆岡田美紀(技・応用数学・1989年卒)

先日母校の前を通りましたが、新校舎のデザインが良く、素敵なキャンパスになっており感動しました。

◆山本晶子(技・農学・1990年卒)

昨年の見学会に参加させていただきました。近代的な建物に驚き、羨ましく思いましたと同時に寂しさも感じました。先生方はどうしておられるのだろう。今年も友達を誘って参加させていただこうと思います。私は短期大学出身なのですが2年はあつという間で入学した次の年に就活で卒業でした。今、思えば四年制の大学にいきたかったです。大学生の皆さん、大学時代にしかできない貴重な体験をたくさんしてください。時間は有限です。

◆清水真理子(大・環境工学・2016年卒)

卒業してから母校に関わることがほとんどなかったので、同窓会会報で近況を知れて嬉しいです。いつもありがとうございます。新校舎見学は行けませんでした。また機会があればぜひ行ってみたいです。

◆角田裕也(大・電子情報・2021年卒)

定期的に送られてくる『千瓢』が富山の空気を思い出すきっかけになっています。いつもありがとうございます。

ご意見、ご要望、住所変更手続きなど、各種お問い合わせをお待ちしております。

富山県立大学同窓会公式ホームページ  
<https://tpu-dosokai.jp>Facebook 公式ページ  
<fb.me/tpu.dosokai>

## 編集後記

▼先日、富山県立大学茶道部が茶道部創立60周年記念茶会を学内で開催した。60年も続いているのは二人の献身的な働きがある。まず金岡寿也(かなおか としや、技・農業機械科1981年卒)さんがあげられる。茶道部のOBで茶道部が部員減少で休部に追い込まれたときに、新しい入学生に入部の誘いをして部員を増やして部の存続につなげた。また5年ごとや10年ごとの記念茶会の段取りや運営に努力され、茶道部OB部員と現役部員、それと先生(茶道教授)の三者のコミュニケーション

ンをとり、今回の60周年茶会を成功に導いた。もう一人は今井秀昭(いまい ひであき、大谷・草農科1期生1965年卒)さんで茶道部で赤間先生から裏千家茶道を習い裏千家淡交会の要職や富山県茶道連盟理事長を務め、また、自宅に茶室「松稲庵(しょうとうあん)」を設けて研鑽を積んでおられる。茶道部にとっては精神的な支えで、困ったときに相談にのってもらっている。今現在、今井さんは佐藤助九郎さんから寄贈された茶室(千瓢亭)の再建に向かって奮闘中。

▼同窓会機関誌『千瓢』20号を発刊しました、皆様の読後感をお寄せください。

(2025年4月26日 池上 勁)